

“あいづっこ宣言”に込められた内容

「あいづっこ宣言」は、本市に脈々と受け継がれてきた、次代を担う青少年への熱い想いを、会津の伝統的な規範意識を踏まえ取りまとめたものであり、子どもからお年寄りまで、すべての市民が一丸となって取り組めるよう、「わかりやすい」、「唱えやすい」、「訴えやすい」ということを基本としています。

「宣言」は、六つの行動規範と、それを締めくくる行動規範で構成されています。それぞれの行動規範に込められた内容は次のとおりです。

一 人をいたわります

- ・お年寄りや弱い人をもかけがえのない人間として大切に思い、いたわる。
- ・自分をはじめ、命あるものをいつくしむ。
- ・みんなのためにボランティア活動を進んでやる。

二 ありがとう ごめんなさい を言います

- ・「おかげさま」の気持ちを持つ。
- ・過ちは素直に認め、謝る気持ちを持つ。
- ・礼儀について心がけ、言葉づかいを正す。

三 がまんをします

- ・甘えをおさえ、わがままをしない。
- ・失敗体験や困難体験を大切にする。
- ・最後まで投げ出さずに本気で取り組む。

四 卑怯なふるまいをしません

- ・自分さえよければという考えで行動しない。
- ・うそをついたり、人の嫌がることをしない。
- ・人として恥じない正々堂々とした行いをする。

五 会津を誇り 年上を敬います

- ・自然体験・社会体験を通して会津についてよく知る。
- ・会津の歴史や文化を知り、先人、親そして年上を敬う。
- ・生まれ育った地を誇り、愛する気持ちを持つ。

六 夢に向かってがんばります

- ・目標実現に向かって、くじけず努力する。
- ・みんなのために、持てる力を使う。
- ・よりよい会津をつくる意欲を持つ。

◇ やってならぬ やらねばならぬ ならぬことはならぬものです

- ・悪い誘惑に負けない強い心を持つ。
- ・やりたくなくても、やらねばならないことはちゃんとやる。
- ・自分勝手はやめ、社会生活のルールを守る。

以上のように、「あいづっこ宣言」に込められた内容は、私たち大人の行動規範でもあります。幼い頃に「あいづっこ宣言」を覚え、思春期や青年期には困った時や苦しい時に思い出し、人の親となったときには、子育ての柱として、また、孫たちに教え聞かせるなど、人生のそれぞれの時期に、私たち市民、会津人の心の糧として生かしていただければとの思いから、この「あいづっこ宣言」は策定されました。